

教育目標	
「自分で考え、自分で動き、意欲をもって遊ぶ子どもの育成」 ○自己を発揮する子ども ○人とつながることを喜ぶ子ども ○主体的に遊ぶ子ども	
年度末の最終評価	
自己評価	教育目標の達成状況、次年度に向けた見直し
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策

学校関係者評価の評価日・評価者

	評価日	評価者
中間評価	令和5年10月18日	学校運営協議会委員
最終評価		

（１）幼稚園教育（保育の改善・充実）について

<p>具体的な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少人数の中で子どもの育ちを豊かにするために ～異年齢での関わりの場面を捉える～ ・週計画案と保育実践、評価の連動（PDCA）から、日々の保育の充実を図る。
<p>（取組結果を検証する）各種指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児の遊ぶ姿の変容・週案の反省、評価の記述・事例検討 ・アンケート項目「子どもは自分の思いを出しながら、友達と遊んだり生活したりしている」「子どもは安心して幼稚園に通っている」「子どもは、幼稚園で遊ぶことを楽しみにしている」「子どもは、幼稚園で身近な動植物に興味・関心をもって過ごしている」

中間評価

<p>各種指標結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児の遊ぶ姿の変容・週案の反省、評価の記述・事例検討 ・アンケート項目 「子どもは自分の思いを出しながら、友達と遊んだり生活したりしている」…100%

「子どもは安心して幼稚園に通っている」…100% 「子どもは、幼稚園で遊ぶことを楽しみにしている」…100% 「子どもは、幼稚園で身近な動植物に興味・関心をもって過ごしている」…100%	
自己評価	分析（成果と課題） ・指導者が目指す子ども像を見据え、願いや意図をもって環境構成したり、子どもの遊びを援助したりすることで、主体的に遊ぶ子どもや他者と折り合いをつける子どもを育む保育につながっている。 ・少人数の中で、子どもの育ちを豊かにするために、異年齢での関わりの場面をとらえ、見取り評価することで、子どもの変容や保育の改善につながりつつある。
	分析を踏まえた取組の改善 ・少人数の中で、異年齢での関わりの場面をとらえ、見取り評価することを通して、子ども理解を深め、子どもの豊かな学びにつながる取組を進めていく。
	（最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標 ・幼児の遊ぶ姿の変容・週案の反省、評価の記述・事例検討 ・アンケート項目「子どもは自分の思いを出しながら、友達と遊んだり生活したりしている」「子どもは安心して幼稚園に通っている」「子どもは、幼稚園で遊ぶことを楽しみにしている」「子どもは、幼稚園で身近な動植物に興味・関心をもって過ごしている」
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策 ・すべての子どもを受け入れ、保育し、子どもたちは相互に豊かに学び合っている姿が見られる。 ・少人数の保育の研究で、金太郎飴ではない新たな価値や少人数ならではの意義を見出してほしい。

最終評価

（中間評価時に設定した）各種指標結果	
自己評価	分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題
	分析を踏まえた取組の改善
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策

（２）架け橋期の教育の充実に向けた幼保小連携・接続に関して

具体的な取組 ・年間交流計画の作成 ・通園区域内にある保幼小中学校への保育公開及び合同研修 ・架け橋期のカリキュラムの作成と検討 ・「親子で絵本！」の取組の定着

<div>(取組結果を検証する) 各種指標</div> <ul style="list-style-type: none"> ・交流の事前・事後の検討 ・公開保育及び合同研修の実施 ・「親子で絵本！」のノート活用度 ・アンケート項目「子どもは“親子で絵本！”の取組を楽しんでいる」「幼稚園は、小中学校や地域、家庭とのつながりを大切にしている」

中間評価

	<div>各種指標結果</div> <ul style="list-style-type: none"> ・二条城北小学校交流…幼保小連絡会、1年体育授業参観 ・二条中学校交流…チャレンジ体験、体育祭見学と競技参加 ・公開保育及び合同研修の実施 ・「親子で絵本！」のノート活用度 ・アンケート項目 <p>「子どもは“親子で絵本！”の取組を楽しんでいる」…93.3%</p> <p>「幼稚園は、小中学校や地域、家庭とのつながりを大切にしている」…100%</p>
自己評価	<div>分析（成果と課題）</div> <ul style="list-style-type: none"> ・年度当初幼小連携の取組を計画し、小学校での幼保小連絡会をもち、子どもを中心に据えて教員同士が交流することができた。 ・本園児が二条城北小学校1年生の体育科授業を見学し、幼児と児童の交流の場を設けることができた。 ・二条中学校のチャレンジ体験で中学生と園児の関わりや本園児が二条中学校体育祭を見学、そして1種目の競技に参加し、幼児と生徒が交流することができた。 ・「ほっこり子育て広場」や「保護者懇談会」などを通して、「親子読書」の取り組み方についても話し合える場を保障する。
	<div>分析を踏まえた取組の改善</div> <ul style="list-style-type: none"> ・二条城北小学校の学習発表会の見学や生活科の学習交流、入学前のビデオレターなど、幼小連携接続の取組を進める。 ・近隣の就学前施設と二条城北小学校に働きかけて、2月1日に本園で幼保小連携公開保育研修会を実施する。
	<div>(最終評価に向けた) 取組の改善を検証する各種指標</div> <ul style="list-style-type: none"> ・交流の事前・事後の検討 ・公開保育及び合同研修の実施 ・「親子で絵本！」のノート活用度 ・アンケート項目「子どもは“親子で絵本！”の取組を楽しんでいる」「幼稚園は、小中学校や地域、家庭とのつながりを大切にしている」
学校関係者評価	<div>学校関係者による意見・支援策</div> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域の子どもは地域で育てる」の理念のもと、公立幼稚園は、公立小学校・中学校と同様に地域にある幼稚園として、子どもの学びと育ちにつながるための交流を、特に教員同士の交流の場をもち、相互理解を深めてほしい。 ・「親子で絵本！」の取組を創意工夫して続けてほしい。

最終評価

(中間評価時に設定した) 各種指標結果	
自己評価	分析 (成果と課題)、重点目標の達成状況、次年度の課題
	分析を踏まえた取組の改善
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策

(3) 預かり保育に関して

具体的な取組
<ul style="list-style-type: none"> ・ 個々の興味に応じた遊びをゆったりと安心して楽しく過ごせる環境構成を行う。 ・ 教育課程内の活動と連動した遊びや季節感のある活動内容を取り入れる。 ・ 地域人材の活用
(取組結果を検証する) 各種指標
<ul style="list-style-type: none"> ・ 預かり保育参加人数 ・ 預かり保育担当者と担任による教育課程内の活動や家庭との連携の振り返り。 ・ アンケート項目「子どもの興味に応じた遊びを、ゆったりと安心して楽しく過ごしている」

中間評価

各種指標結果	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 預かり保育参加人数…15 人中 14 人参加 ・ 預かり保育担当者と担任による教育課程内の活動や家庭との連携の振り返り。 ・ アンケート項目 「子どもの興味に応じた遊びを、ゆったりと安心して楽しく過ごしている」…93.3%	
自己評価	分析 (成果と課題)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4 歳児 6 名、5 歳児 9 名の少人数学級であり、保護者の多くは、異年齢の子ども同士の関わりや同性の子ども同士の関わりなどを預かり保育に期待されている。 ・ 預かり保育担当者と担任で、個々の子どもの様子や家庭との連携など情報共有し取組に生かすことができた。
	分析を踏まえた取組の改善
<ul style="list-style-type: none"> ・ 預かり保育時の子どもの遊びや子ども同士の関わりを豊かにするために、ボール遊びの外部講師を招くなど、実施可能な取組を進める。 	
(最終評価に向けた) 取組の改善を検証する各種指標	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 預かり保育参加人数 ・ 預かり保育担当者と担任による教育課程内の活動や家庭との連携の振り返り ・ アンケート項目「子どもの興味に応じた遊びを、ゆったりと安心して楽しく過ごしている」 	

学校関係者評価	<div>学校関係者による意見・支援策</div> <ul style="list-style-type: none"> 子どもが安心して、個々の興味に応じた遊びを、ゆったり楽しく過ごせているので、良好な園運営がなされている。
---------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

最終評価

(中間評価時に設定した) 各種指標結果	
自己評価	分析 (成果と課題)、重点目標の達成状況、次年度の課題
	分析を踏まえた取組の改善
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策

(4) 子育ての支援に関して

<div>具体的な取組</div> <ul style="list-style-type: none"> 未就園児親子を対象とした教育相談の実施 幼稚園生活や保育内容説明会での先輩ママと触れ合い 未就園児親子を対象とした、在園児や 地域の方と触れ合える取組 (七夕のつどい、運動会、楽しいつどい、水遊びへの参加など) 身長や体重を測り、親子で成長を喜び合う。
<div>(取組結果を検証する) 各種指標</div> <ul style="list-style-type: none"> 子育て支援の取組の回数や参加人数、教育相談件数

中間評価

<div>各種指標結果</div> <ul style="list-style-type: none"> 未就園児との交流…運動会に参加 子育て支援の取組の回数…30 回 (4 月～9 月) ひよっ子クラブ参加人数…のべ 143 人、1 回あたり 4.8 人 (4 月～9 月) 教育相談 (いちご組) 件数…84 件 (4 月～9 月) 	
自己評価	<div>分析 (成果と課題)</div> <ul style="list-style-type: none"> 4 月中旬からはほぼ毎月曜日と木曜日 (10:00～11:30) は、子育てボランティアの協力により、未就園児 0 歳～5 歳のひよっ子クラブや 3 歳未就園児親子のいちご組 (月曜日～金曜日の 9:00～11:30、9:00～13:40) を通して、子育て支援に関わる教育相談を継続して実施することができた。 月曜日～金曜日 9:30～15:00 (12:00～13:00 を除く) の園庭開放は、降園時の短時間利用が少なくなかった。

	<div>分析を踏まえた取組の改善</div> <ul style="list-style-type: none"> ・未就園児親子を対象とした子育て支援の取組については、ホームページや地域へのチラシ・ポスターの配布、区役所のチラシ配架など、広報活動を継続して取り組む。 ・公立幼稚園プロモーションビデオ配信やQRコードを掲載など、情報発信する。
	<div>(最終評価に向けた) 取組の改善を検証する各種指標</div> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援の取組の回数や参加人数、教育相談件数 ・未就園児保護者に対するアンケート実施
学校関係者評価	<div>学校関係者による意見・支援策</div> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児の早期段階から就学前施設探して、0歳から3歳の早い時期から保育を希望する保護者が増えてきている。 ・子育て支援の取組には、今後も地域やOBが協力していきたい。

最終評価

<div>(中間評価時に設定した) 各種指標結果</div>	
自己評価	<div>分析(成果と課題)、重点目標の達成状況、次年度の課題</div>
	<div>分析を踏まえた取組の改善</div>
学校関係者評価	<div>学校関係者による意見・支援策</div>

(5) 地域との関わり(社会に開かれた教育課程)に関して

<div>具体的な取組</div> <p>○学校運営協議会3企画委員会の取組の検証</p> <p>A. 親子の学びプロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もちつき、絵本室の整備・貸出、子育て支援センターとしての活動等を行う。 <p>B. からだ元気プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子遠足、運動会の競技、冬のマラソン等を行う。 <p>C. 連携プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼小中交流、中学校チャレンジ体験受け入れ、グリーンストア等を行う。 <p>○地域資源を活かした指導計画作成</p>	<div>(取組結果を検証する) 各種指標</div> <ul style="list-style-type: none"> ・交流の回数や地域の方々の声 ・アンケート項目 「子どもは幼稚園の取組で地域や地域の方に親しみをもっている」
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

中間評価

<div>各種指標結果</div> <ul style="list-style-type: none"> ・グリーンストア…地域の方々と花や野菜の苗をプレゼントする交流

<ul style="list-style-type: none"> ・7月7日七夕の集い…地域のお年寄りとの交流 ・二条城北小学校交流…幼保小連絡会、1年体育授業参観 ・二条中学校交流…チャレンジ体験、体育祭見学と競技参加 ・アンケート項目 <p>「子どもは幼稚園の取組で地域や地域の方に親しみをもっている」…93.3%</p>	
自己評価	分析（成果と課題） <ul style="list-style-type: none"> ・グリーンストアや七夕の集いの地域の人々や保護者の方々との交流を通じて、言葉のやり取りや一緒に物を作るなど、子どもの学びの場となった。 ・地域にある小中学校の児童や生徒と園児との交流を通して、園児にとって児童や生徒が憧れやモデルの存在になる。 ・昨年度のアンケート結果 91.3%が、今年度 93%と、コロナ禍、地域行事等中止になった時に比べ、子どもは地域や地域の方に親しみをもっている。
	分析を踏まえた取組の改善 <ul style="list-style-type: none"> ・地域行事への参加や協力体制のあり方には、地域とのつながりを大切にしながら、PTA とともに過重な負担にならないよう検討し、改善を図る。
	（最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標 <ul style="list-style-type: none"> ・交流の回数や地域の方々の声 ・アンケート項目 「子どもは幼稚園の取組で地域や地域の方に親しみをもっている」
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策 <ul style="list-style-type: none"> ・待賢諸団体や二条中学校、待賢幼稚園 OB、地域の人々の協力のもと、4年ぶりに待賢カーニバルを実施することができ、地域にある幼稚園としての存在をアピールできた。 ・待賢幼稚園児のダンスや歌や二条中学校の吹奏楽の演奏では、子どもたちが地域の人々の前でいきいき活動する場面があり、それらを見守る保護者や地域の方々の姿があり、地域の一体感が感じられた。

最終評価

（中間評価時に設定した）各種指標結果	
自己評価	分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題
	分析を踏まえた取組の改善
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策

（6）教職員の働き方改革について

重点目標
<ul style="list-style-type: none"> ・心身ともに健康で、安定・充実した仕事ができるように、個々にそして組織的に工夫して、働き方改革を推進する。

具体的な取組
<ul style="list-style-type: none"> ・ノー残業デー（毎水曜日）と 18 時までの電話対応時間の徹底 ・業務共有ホワイトボードを活用し、校務支援員やボランティアと連携して業務を遂行する。 ・年休取得日数を前年度より増やす。
(取組結果を検証する) 各種指標
<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の時間外勤務時間「1 月あたり平均 3 0 時間以内」 ・年休取得日数「1 人あたり 1 0 日以上」

中間評価

自己評価	各種指標結果
	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の時間外勤務時間「1 月あたり平均 3 0 時間以内」…「1 月あたり平均 30 時間 10 分」 ・年休取得日数「1 人あたり 10 日以上」…「1 人あたり平均 5.5 日」
	分析（成果と課題） <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の働き方改革に向けて、教職員の意識改革と具体的な取組に努めた結果、時間外勤務の縮減につながってきている。ただし、管理職の時間外勤務時間は、業務と勤務時間のずれが生じており、縮減には至っていない。
	分析を踏まえた取組の改善 <ul style="list-style-type: none"> ・管理職の時間外勤務時間縮減に向けて、実効ある取組を行う。
	(最終評価に向けた) 取組の改善を検証する各種指標 <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の時間外勤務時間「1 月あたり平均 30 時間以内」 ・年休取得日数「1 人あたり 10 日以上」
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策 <ul style="list-style-type: none"> ・全国的に教員採用試験倍率の低下が問題で、公教育の危機と言っても過言ではない。主な要因に、教員の長時間労働や仕事量の多さ、精神的ストレスがあげられる。実効ある働き方改革の推進が求められている。

最終評価

(中間評価時に設定した) 各種指標結果	
自己評価	分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題
	分析を踏まえた取組の改善
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策